

# 新鋭経営会フォーラム2024大阪

未来に挑戦し続ける中堅・中小企業の経営者がいま語る  
～元気企業の経営者の志がもたらす革新的ビジネスの展開～

- 日時： 2024年10月18日（金） 13：20～17：00  
会場： 大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール  
参加料： 無料  
定員： 120名  
申込〆切： 10月4日（金）  
主催： 新鋭経営会  
共催： モノづくり日本会議／日刊工業新聞社  
後援予定： 近畿経済産業局、大阪商工会議所、（公社）兵庫工業会、  
（公社）関西経済連合会、（独）中小企業基盤整備機構・近畿本部
- 〔定員になり次第、締め切らせていただきます。  
状況は、下記ホームページにてお知らせいたします。〕

## 会場案内図

大阪大学中之島センター  
〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-53  
<https://www.onc.osaka-u.ac.jp/>

- 京阪中之島線 中之島駅より徒歩約5分
- 阪神本線 福島駅より徒歩約9分
- JR東西線 新福島駅より徒歩約9分
- 大阪市バス(53系統)  
大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
- 大阪市バス(75系統)  
大阪駅前バスターミナル→田蓑橋 下車  
徒歩2分



## 申込方法

申込期限までに、弊会ホームページより下記必要事項を入力してお申し込み下さい。  
なお、定員になり次第締め切らせていただきますので、悪しからずご了承下さい。

- 氏名（フリガナ） ●所在地 ●年齢区分
- 業種 ●電話番号（35歳以下、36～45歳、46～54歳、55歳以上）
- 企業名 ●部署・役職 ■電子メールアドレス（Peatixへの登録）

新鋭経営会ホームページ：<http://www.new-ceo.jp>

## 開催趣旨

「新鋭経営会」は2012年4月に発足して、異業種の新進気鋭の中堅・中小企業経営者ならびに承継予定者（43社）で構成され、企業立地面からは東は東京、神奈川、長野から西は熊本まで多地域に広がっています。これまで、各社の現況紹介、専門家による経営・技術分野などの最新開発・研究の講演、企業見学会、企業共通の課題などに関するワーキンググループでの討議などの活動を続けています。そこでは多彩な経営者との出会いや相互触発の場が形成されていると評価されています。

これらの活動を通して、「より革新的で元気な企業を構築し、継続的生存と発展を実現するには、経営者には、いまだのような志・ミッションを持ち、どのようなビジネス・イノベーションに挑戦すべきか」などの企業経営のあり方について議論すると共に情報の共有を進めております。この種の課題に先導的な役割を試みている経営者の方々に本音の声を発信し、関連企業の経営者、また周辺領域企業の経営者、さらに産業界や社会にも貢献できるのではないかと狙いで、新鋭経営会ではフォーラムを企画し、これまで、大阪と東京で計6回のフォーラムを開催してきました。コロナ禍もあってしばらく休会としておりましたが、今回再開することとし、特に、ニューノーマル時代を迎えての新しい取組を積極的に推し進め、企業経営の新しい形を追求する4企業の代表者に講演して頂きます。

いずれの企業もそれぞれに特長ある経営に取り組んでおられ、多くの公的な表彰を受賞され、高く評価されています。このような背景からも、お話の内容は、単に中堅・中小企業の領域に留まらず、技術経営のあり方や将来を見据えた経営者としてのリーダーシップのあり方など、中小企業のみならず大企業の方々にも寄与するところが大きいものと推測されます。関心をお持ちの経営者、管理者、関連自治体や関係機関の方々の積極的なご参加をお待ちしています。



新鋭経営会 会長  
豊田政男  
(大阪大学名誉教授)

## プログラム

- 13:20～13:35 開催挨拶・新鋭経営会の目指すものとその活動 新鋭経営会 会長 豊田 政男
- 13:35～14:15 講演① 清川メッキ工業株式会社 代表取締役社長 清川 肇 氏  
絶えざる先端的技術開発をベースにした、できないと言わない経営
- 14:15～14:55 講演② 利昌工業株式会社 代表取締役社長 利倉 幹央 氏  
積層・注型の次へ、イノベーションの挑戦  
—ニッチトップ戦略を支える研究開発型企业をめざして—
- 15:10～15:50 講演③ 岩崎工業株式会社 取締役 岩崎 章浩 氏  
PX（プラスチック・トランスフォーメーション）を通じた持続可能な社会実現と、  
会社としての社会的責任への取り組み  
—X（エックス）に取り組むことによる新価値創造—
- 15:50～16:30 講演④ 株式会社中央電機計器製作所 代表取締役 畑野 淳一 氏  
DXで新たな価値共創に挑戦  
—誠実なものづくりをベースとした新たな価値共創を実現するサービス開発—
- 16:30～16:40 講評と新鋭経営会への期待 住友電気工業株式会社 常任顧問 西田光男 氏
- 16:40～16:45 閉会挨拶 新鋭経営会 会長代行 宇山 浩
- 16:45～ 講師面談会

(1) 清川メッキ工業（株） 代表取締役社長 清川 肇 氏

「絶えざる先端的技術開発をベースにした、できないと言わない経営」

小さいモノにめっきする事を突き詰めた結果、大気に舞っている花粉に数ナノのめっき皮膜を加工する事が可能となりました。この技術は現段階では使い道がないかもしれませんが、5年後、10年後には今は誰も思いつかないような分野に使用されるかもしれません。技術シーズをホームページと展示会で発信することで、同業者に迷惑をかけることなく新規の仕事を作り上げています。量産までには千に三つの困難さが伴いますが、決してできないと言わない経営方針のもと、世の中に貢献できる技術開発への挑戦についてお伝えさせていただきます。



(2) 利昌工業（株） 代表取締役社長 利倉 幹央 氏

「積層・注型の次へ、イノベーションの挑戦」

—ニッチトップ戦略を支える研究開発型企業をめざして—

絶縁材料の輸入販売からスタートし、その後、海外からフェノール樹脂積層板技術を習得することで絶縁材料メーカーとしての地位を確立してきました。この積層技術を深掘りする事により、積層技術を利用したプリント配線板という、電子材料の分野にも事業領域を広げて参りました。また、海外で開発されたエポキシ樹脂を金型に注型した電気機器も製造販売するようになりました。当社の2本柱というべき積層技術と注型技術をより大きく成長させ、さらに3本目の技術を模索し育てることで、経営基盤を安定させ、平和な社会に貢献していこうという想いをお伝えします。



(3) 岩崎工業（株） 取締役 岩崎章浩 氏

「PX（プラスチック・トランスフォーメーション）を通じた持続可能な社会実現と、会社としての社会的責任への取り組み

—X（エックス）に取り組むことによる新価値創造—

昨今、多くのビジネスの現場で“X”がついた単語を目にしたか耳にすることがよくあると思います。DXやCX、GXなど様々な変革や体験に関する言葉の略称ですが、今やこのXをどの様に会社に取り入れて組織が変革できるか？が、各社大変重要な課題となっていると推察します。弊社も御多分に漏れず少しずつではありますが、Xを取り入れての業務効率の改善し、それを落とし込んだ新たな製品や価値の創造を目指して業務推進を進めております。

私たちが所属するプラスチック製造業でも皆様されていると存じますが、今回はプラスチックに関する大きな流れの変化についてお話させていただきます。今日は恐れ多いながらも、タイトルに“PX”とつけましたが、日進月歩で進化をしているプラスチックの変革とそれに伴い変化している弊社の取り組みや立ち位置についてお伝えします。



(4) (株) 中央電機計器製作所 代表取締役 畑野 淳一 氏

「DXで新たな価値共創に挑戦」

—誠実なものづくりをベースとした新たな価値共創を実現するサービス開発—

カスタムメイドで一品一様の極めて特殊な検査装置や計測システムを、ハード／ソフトはもちろん、メカに至るまで一貫して開発・設計・製作できる創業94年目のユニークな技術者集団です。計測制御に特化したソフトウェア開発環境「LabVIEW」のプロ集団でもあり、特に「PCベース計測制御システム」の開発を得意としております。一方、弊社は長年スタンドアロン（ネットワークに接続されず、装置単体で処理を行うタイプ）の製品提供だけにとどまるため、DXという技術革新の波をとらえ、今までの製品とは異なる「スマートプロダクト」への進化と、それらをリモートで監視・制御、管理、分析することで装置の健全性を担保するといった、新しい価値共創に挑戦する想いをお伝えします。

